

近年、クラウドや AI の活用が現実となり、Society 5.0 for SDGs（持続可能な開発目標）の実現のために身の回りの多くの機器が電子回路を搭載し、通信・制御機能を持つようになりました。このようなデジタルトランスフォーメーション（DX）が進む社会では通信速度の要求に伴う使用周波数の上昇は避けられず、ミリ波帯までの利用が拡張されてきています。これに伴って、機器の制御の高度化を目指して実装されるコンポーネントの信頼性や安全性は非常に大きな課題となります。利用者のニーズによる機器の省電力・小型化やワイヤレス化は更に進むため、様々な EMC（Electro-Magnetic Compatibility, 電磁両立性）技術の開発とその定量的な評価法の確立が必要不可欠です。

このような背景を踏まえ、電磁波制御技術の最新の開発事例・応用例、更には定量的な評価法について幅広い領域からの EMC に関する知見と技術を共有することを目的として、本特集（2021 年 6 月号）を企画します。

1. 対象分野

電波吸収体・電磁遮へい材、対策部品、シールド技術、回路基板設計、EMC モデリング、計測、システムレベル EMC、イミュニティ、通信・電力システムの EMC、ESD、生体の EMC、電磁波セキュリティ技術など

2. 論文の執筆と取扱い

- 論文の執筆、査読の取り扱い是一般論文と同一とします。詳細は、投稿のしおりを御参照下さい。
https://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.html
- 原則として、論文は刷り上がり 8 ページ、レターは同 2 ページを標準とします。
- 特集発行のスケジュールにより、査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 主なスケジュール

投稿締切：2020 年 8 月 16 日（日）厳守

第 1 回判定通知：2020 年 10 月中旬を予定

最終判定通知：2021 年 1 月中旬を予定

掲載料支払期限：2021 年 2 月 25 日

発行月：2021 年 6 月号

（本特集の論文は、採録決定後、掲載料をお支払い頂くと直ちに早期公開されます。詳細は、投稿のしおりを御参照下さい。）

4. 投稿方法

投稿は原則電子投稿とします。

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx

にアクセスし、投稿原稿に関するデータの登録と、投稿原稿 PDF ファイル（4 MB まで）並びに編集用電子ファイル（1 ファイルにつき 10 MB まで）をアップロードし、Copyright Transfer and Page Charge Agreement の手続きをして下さい。なお、電子投稿が困難な場合は、学会事務局（wabun-b@ieice.org）に御連絡下さい。

5. 特集編集委員会

編集委員長 森岡健浩（産総研）

編集幹事 山本真一郎（兵庫県立大）、肖 鳳超（電通大）

編集委員 井舘貴章（阪大）、萱野良樹（電通大）、須賀良介（青学大）、高谷和宏（NTT）、原田高志（トーキン EMC）、林 優一（奈良先端大）、藤井勝巳（NICT）、船戸裕樹（日立）、和氣加奈子（NICT）

6. 連絡先

山本真一郎（兵庫県立大大学院工学研究科）

TEL {079} 267-4111

E-mail : yamamoto@eng.u-hyogo.ac.jp